

この度はシャッテン・ピックアップのアコースティック楽器用ピックアップをご購入いただきまして大変有り難うございます。  
 本説明書を良くお読みになり適切にお使い下さい。

## クラシックギター用 HFN-C Artist 取り付け方法

### エンドピンジャック・プリアンプの取り付け方法

- 1) 弦を全て緩め、取り外すかテープ等で止めて手がサウンドホール内に入るようにします。ギター底部のエンドピンを取り外します。
- 2) エンドピンがネジで取り付けられたストラップボタンのギターの場合は、エンドブロックに 4.5mm のドリルでガイド用の穴を開け、貫通させます。次に太いドリルで穴を広げる際に傷つけないように、穴のエッジを回転ヤスリやバリ取りカッターを使って面取りします。次に 9.5mm のドリルで穴を広げバリ取りします。最後に 12.5mm のドリルで穴をエンドピンジャックが入るまで広げます。
- 3) もしエンドピンがエンドブロックに開けられた穴に差し込まれているギター場合は、その穴をリーマーなどで慎重に 12.5mm の内径になるように広げるか、複数のドリルを使用して段階的に 12.5mm まで広げます。
- 4) エンドピンジャック・プリアンプの外側のストラップボタン、ナット、ワッシャーを取り外します。
- 5) サウンドホールからエンドピンジャックを入れ、エンドブロックに開けられた穴に差し込みます。穴からジャックが 8mm ほど外に出るようにします。
- 6) ワッシャー、ナット、ストラップボタンを取り付け、ナットを締め付けます。



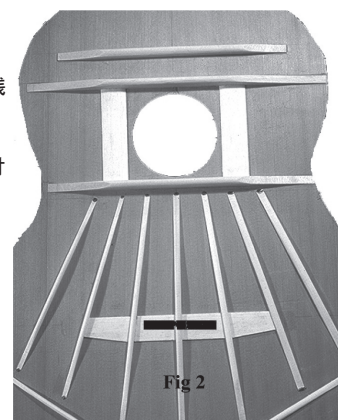
### 両面テープ

ピックアップ取り付け用の両面テープは厚めと薄めの 2 種類が付属します。通常は厚い方の両面テープで良い結果が得られますが、まれに音量の小さい楽器の場合ですと出力が小さすぎる場合があります。その場合には薄い方のテープを使用して下さい。出力レベルが上がります。

### ピックアップの取り付け方法

通常ブリッジプレート付近のフラットな部分がピックアップの取り付けには最適です。しかしたいていの場合は弦のテンションなどで多少湾曲していたりします。ほとんどの場合軽い湾曲はピックアップのパフォーマンスに影響を与えません。しかし場合によっては各弦の出力バランスに問題が出る場合があります、その場合には調整が必要になります。この説明書に記載のトラブルシューティングをお読み下さい。

- 1) ピックアップはギター内部のサドルの真下に取り付けるように設計されています。サドルと並行になるように取り付けして下さい。ピックアップの中央のアーチが楽器の中央のプレーシングをまたぐように取り付けます。サウンドホールの端からサドルの中心までの長さを測って、正確にピックアップがサドルの真下に位置するようにして下さい。取り付け部分が汚れていると粘着力が落ちますので、ぬらして硬く絞ったペーパータオルで拭き取りクリーニングをします。
- 2) 付属の両面テープの片面の剥離紙を剥がします。平らな場所に粘着側を上にしてテープを置きます。ピックアップのブリッジ側をテープに押しつけ、ブリッジの脚がしっかりとテープに付くようにします。
- 3) ピックアップの中央のアーチの部分のテープを切り取ります。外側のアーチに架かる部分のテープは残しておきます。
- 4) テープの反対側の剥離紙を剥がします。
- 5) ピックアップを慎重に場所を確認しながらしっかりと貼り付けます。図 2 の黒い四角の部分が取り付け位置です。ブリッジプレートの無いタイプの楽器の場合には指でサドルを叩いて真下の場所を探して下さい。



### ボリュームの取り付け

- 1) 通常はサウンドホールの低音側の端から少し出たところにボリュームノブが来るように取り付けます。
- 2) ギター内部のサウンドホールの周辺の取り付け部分を手で触り、平らできれいな場所を探します。平らでないと確実な取り付けが出来ません。
- 3) VHB テープの剥離紙を外し、サウンドホールの取り付け位置の外側を支えながら、コントロールユニットをしっかりと貼り付けます。

### バッテリーバッグの取り付け

- 1) バッテリーのケーブルが届く範囲の任意の場所にバッテリーバッグを取り付けます。バッテリーをバッグに収納して、プリアンプのバッテリーコネクターを取り付け、必ずコードが届く範囲である事を確認して下さい。
- 2) バッテリーバッグの取り付け場所は、サウンドホールから手が届く範囲で、外から配線やバッテリーが見えない場所にして下さい。
- 3) 場所が決まったらベルクロテープで固定します。

### 仕上げ

付属の配線ホルダーを使い、バッテリーケーブル、ピックアップの配線をまとめます。弦を張り直します。

### トラブルシューティング

楽器によっては各弦の出力バランスが均一でない場合があります。この現象はブリッジプレートが平らでなかったり、楽器の構造による位相のズレにより起こります。このピックアップは実際の振動を 4 本の脚を通して拾って音にしています。中央の 2 本の脚を直接ブリッジプレートに直接コンタクトすることで解決できる場合があります。一度ピックアップを取り外し、中央の 2 本の脚からテープを取り、両サイドの脚に新しいテープを付けてもう一度ピックアップを取り付けてみて下さい。



この度はシャッテン・ピックアップアコースティック楽器用ピックアップをご購入いただきまして大変有り難うございます。  
 本説明書を良くお読みになり適切にお使い下さい。

## エンドピンジャック・プリアンプ ArtistII 仕様書

### プリアンプのスペック

2チャンネル：各チャンネルごとに基板上的ポットでゲイン調整可能 (0dB ~ 24dB)。  
 マルチパワーサプライ：9V バッテリー、ファンタム電源 48V 以下、外付けバッテリーボックス (RP-1)。  
 ※ファンタム電源、バッテリーボックス使用時には XLR Male - TRS 1/4" ケーブル (CAB-1) が必要になります。

CAB-1 Cable のスペック：3m、3 芯ケーブル

XLR オス - TRS 1/4" ステレオ フォンプラグ

XLR Pin 1/4" Stereo

Pin 1 = Ground = Sleeve

Pin 2 = Signal = Tip

Pin 3 = Power = Ring

RP-1 バッテリーボックスのスペック：

リモート式 18V バッテリーボックス

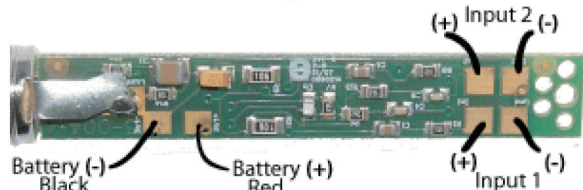
XLR メス、1/4" フォン (モノラル)、2 x 9V バッ

テリー使用。楽器と RP-1 の接続には CAB-1

ケーブルが必要です。RP-1 とアンプは通常の

1/4" モノラルケーブルを使用します。

fig 1



### ゲインの設定方法

配線済みのプリアンプは初期設定ではゲインは最大値の 20% にあらかじめ設定されています。配線してないものは 0 に設定してあります。ピックアップに応じて設定して下さい。

### 重要

何もつなげていないチャンネルのゲインは 0 にして下さい。ノイズの原因になります。

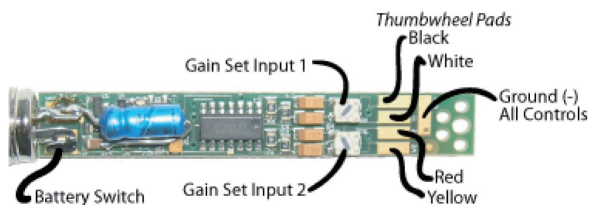


fig 2

もう 1 個アクティブピックアップをプリアンプに接続する場合は左の図に従って下さい。+ の電源は図 1 の Battery (+) から - (Ground) は Battery (-) から取りだせます。通常はプラグの抜き差しで電源を on/off 出来る図 2 の Battery Switch Lug (-) を使用します。

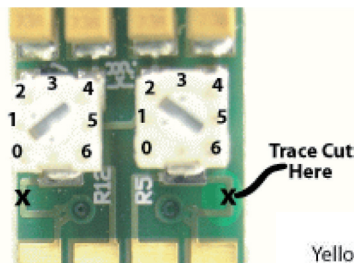


fig 3

図 3 はゲイン調整用のトリムポットの拡大写真です。左側のポットはそのチャンネルが使用されていないためゲインが 0 にセットされています。右側のポットは 2 に設定されています。ピックアップの感度によりゲインは調整する必要がありますが、初めは 2 から試してみてください。

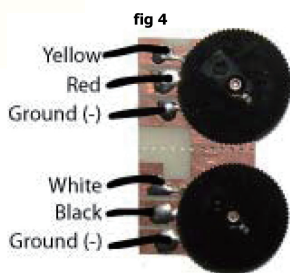


fig 4

### ボリュームコントロール

ボリュームコントロール付きモデルの場合は、該当するチャンネルのポットの回路がカットされています。新たにボリュームコントロールを追加する場合には、図 3 の Trace Cut の部分の回路を鋭いナイフで切断する必要があります

図 4 はボリュームコントロールのワイヤーの色とポジションを示しています。2チャンネル使用するにはグランドがブリッジされているのでどちらか一方のグランドをプリアンプのグランドに接続して下さい。1チャンネルのみ使用する場合は、基板のマークの位置で切断して、グランドをプリアンプのグランドに接続して下さい。